

## 相沢鉄工所 100周年式典

140人出席



【さいたま】相沢鉄工所（埼玉真川口市、相沢邦充社長）はパレスホテル大宮（さいたま市大宮区）で「100周年記念式典」を開いた。取引先や社員ら140人が出席して節

目を祝った。相沢社長（写真）はあいさつで、「持続可能な世界で今後も、ブランドマークであるAAA（スリー・エー）がお客さまに必要とされ続けられるように、取引先や社員、地域とともに未来へ歩み続けたい」と決意を述べた。

同社は1923年に相沢社長の祖父、相沢広吉氏が創業。シャーリングとプレスブレイキの開発・製造・販売を手がけ、シャーリングでは国内50%超のトップシェアを誇る。記念式典では来賓として招かれた山善の岸田貞司社長、佐藤商事の野沢哲夫社長、ヤマザキマザックの山崎高嗣社長が祝辞を述べた。記念講演では国際経済政策調査会の吉岡正和理事長が「国際リニアコライダー計画ILC」をテーマにアジア初となる大型国際研究機関ILC誘致の意義と日本へのインパクトについて解説した。